

月影



第 46 号

平成二十五年三月三十日発行
浄土宗西山禅林寺派

常林院

ゆく川の流れば
絶えずして
しかも
もとの水にあらず



「方丈記」
鴨長明

この世は移りゆき
常に姿を変えていく

咲きほこる花が
風に散っていくように

形あるものは
いつかは滅し

命あるものは
浄土に帰る

人々の心に
面影を残しながら

法然上人 『百四十五箇条問答』

問い 髪つけながら、男女の死に候は、いかに。
 答え 髪により候わず、ただ念仏と見えたり。

男でも女でも、髪を残したまま死ぬのはいかがで
 しょうか。

お答えします。往生は髪のあるなしによるもので
 はありません。ただお念仏によると心得ています。

法然上人がご在世された
 平安時代は、戦争や天災、疫
 病が流行るなど、日々、死と
 隣り合わせの時代でした。

法然上人と同じ時代を生き
 た鴨長明の「方丈記」に、そ
 の頃の様子記されています。

二年の間、日照りや大風、
 洪水などで五穀はすべて実
 らずさらに伝染病も流行り、

飢え死にした者は数えきれ
 ないほどでした。

仁和寺に隆暁法印という人
 が数限りなく人々が死んで
 いくことを悲しんで、死者
 の首が見つかるたびに、成
 仏できるようにと、額に阿
 字（あじ…梵語）を書いて
 回られました。その数 四
 万二千三百余り……。

人々は、道ばたの死者の変

わりゆく姿を目の当たりにし
 ながら、人は死後、極楽へ行
 けるのだろうか…、という不
 安の中で生活をしていました。
 そういう時代に、法然上人
 は、「南無阿弥陀仏と唱えれば、
 誰でも極楽浄土へ往生でき
 る。」と説かれました。

「髪をつけながら」とは、髪
 を剃って出家しなくてもいい
 でしょうか、ということ。

これに対して、法然上人は、
 「往生するのに大事なのは、
 髪のあるなしではなく、お念
 仏なのです。」

とお答えになられています。
 お念仏によって、その身そ
 のままの姿で、どんな人でも
 極楽浄土に往生させていただ
 けるのです。

あれこれ

仏教用語



ともに行動し運命をともにする時に使われる言葉です。

人は死後、極楽浄土の蓮の上に生まれることに由来し、この世で同じ

いぢれんたくしよう

一蓮托生

思いで結ばれている人たちが、共に極楽に往生して、同じ蓮の上に生まれようという意味。

露の身は　ここかしこにて
 きえぬとも　こころはおなじ
 はなのうてなぞ　く法然上人く

彩寺記

花まつり

四月八日は、お釈迦様がお誕生されたことを祝う「花まつり」です。

お釈迦様は、お花畑でお生まれになり、すぐさま七歩お歩きになられ、右手は天を指し、左手は地を指して、「私」というこの命は、この世で何物にもかえがたい尊い命なんだという意味を込めて「天上天下唯我独尊」とおっしゃいました。すると、天から龍が甘露の雨を降らせたと伝えられています。この言い伝えから、花まつりには花御堂に誕生仏を祀り、甘茶をかけるようになりました。



春の彼岸会

三月二十日。常林院で春の彼岸会を勤めました。

彼岸会法要の後、お説教に称讚寺名誉住職、嶋本弘修師にお越し頂きました。

お釈迦様が残されたお言葉を中心に、一つ一つ丁寧にお話しくださいました。また、仏の教えによって、私たちの心がやわらかくなり、ちょっとやさっとでは、へこたれない心になっていくのだと、柔軟な心の大切さなど、日々の生活の糧になるお話しを聞くことができました。

当日、お足もとの悪い中、ご参詣くださいました檀信徒の皆様、ありがとうございました。

雑記抄

人は二度死ぬ

再放送のテレビドラマを見ていた時。今は亡き、懐かしい俳優さんが出てくることがあります。「いい俳優さんやったなあ」と、テレビの中で表情豊かに演技をしている姿を見ているうちに、もうすでにこの世にはいないのに、ふと、今も生きておられるような錯覚を起こすことがあります。▼

「人は二度死ぬ」という言葉があります。一度目は心臓が止まった時。二度目は人々の記憶から忘れ去られた時。▼この世の生きとし生けるすべてのものには、寿命という限られた命が与えられています。一度目の死（肉体の死）

は避けようと思っても、絶対に避けることはできません。しかし、二度目の死は、その人のことを忘れずにいけば避けることができます。▼今は亡き大切な人との思い出を思い出すと、在りし日の姿がすぐに心に浮かびあがってきます。往年の俳優さんたちが映像の中で生き続けているように、大切な人も、私たちの心の中で生き続けているのです。▼そして、その思い出を、子や孫に伝えていくことによって、その人の魂は、たくさんの方の心の中に受け継がれ宿っていくのです。

